

下水マイニングの 社会実装

米国スタートアップでの
0→1と1→100の経験

教養学部1,2年生受講推奨 3年生以上の学部生・大学院生・教職員も受講可

Zoomによるオンライン開催

講師

株式会社島津製作所 グローバル共創営業戦略室 マネージャー
元Biobot Analytics, Inc.
Research Program Manager ('17-'22)

遠藤礼子氏

進行 講演(70分) 質疑応答(30分)

セミナー概要

個々人の尿や便の集まる下水は、集団の疫学情報の宝庫である。この下水を活用した疫学調査を下水疫学と呼ぶ。2017年創設の米国スタートアップBiobot Analytics社は下水疫学を事業化した世界初の会社であった。新型コロナパンデミックを機に下水疫学は世界的に活用が広がり、現在では米国CDCは下水疫学を全国展開するに至る。セミナーでは、この過程で経験した、Biobot社に一人目の社員として入社し社員が100を超えるに成長する過程、技術開発からビジネス開発まで見てきた経験、市場が大きくなり競合も現れる中での苦労等を紹介する。技術の社会実装における示唆、スタートアップでのキャリア戦略、海外留学経験などについても触れる。

講師略歴

東京大学工学部社会基盤学科卒業。マサチューセッツ工科大学で環境工学を専攻し、修士および博士号を取得。環境工学と公衆衛生の融合的な分野で働き、下水疫学の社会実装に力を入れる。Biobot社に入社し、Y Combinator卒業、米国CDCとの契約、TIMES誌「世界で最も影響力のある100社(2022)」選出など経験。2022年より日本における下水疫学導入を目指す活動を行う。MITテクノロジーレビュー「Innovators Under 35 Japan 2023」受賞。2024年4月から島津製作所にてグローバル連携推進に関わる。



日時

2024年6月11日 火 18:45-20:30 (6時限)

URL

UTASにログイン後、掲示板のお知らせにてZoomのURLを確認し、アクセスして下さい。

対象

東大の学生・教職員であれば誰でも自由に参加できます(無料、事前申込不要)。

■主催・問い合わせ先

東京大学大学院工学研究科学術戦略室、国際工学教育推進機構 工学教育部門
〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 工学部8号館324号室
TEL:070-1539-2378 E-Mail:kawanaka@cce.t.u-tokyo.ac.jp(川中孝章)



東京大学大学院
工学系研究科
SCHOOL OF ENGINEERING
THE UNIVERSITY OF TOKYO